

～ 年末年始の移動時期の新型コロナウイルス感染拡大防止について ～

患者・組合員のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の国内流行第5波が落ち着き、鹿児島県内の新型コロナウイルス感染症の新規発生患者ゼロの日数が更新される中、新たな変異ウイルスオミクロン株が発生し、11月26日に WHO(世界保健機構)が「懸念すべき変異株」VOC に指定しました。みなさまのご心配は異口同音に以下のようなことではないでしょうか？

オミクロン株は日本でも蔓延するのだろうか、重症化リスクはあるのか、重症化したら入院できるのだろうか、コロナの終息はさらに遠くなるのだろうか・・・。

まだまだ情報が少なく、日々情報は更新されていくのですが、私たちのやるべきことは第1波から第5波までの経験で学んだことを実践するのみです。すなわち、不織布マスク・手指消毒、三密をさげ、室内換気をよくする、ワクチン接種です。年末年始にかけて県をまたいで移動が増えることが予想されますが、これまで同様、基本のキを徹底しましょう。

当院では患者・組合員のみなさまが安心して受診していただけますよう感染防止に取り組みながら医療・福祉活動をすすめております。入院患者様とご家族が直接面会できませんのでオンライン面会も行っております。感染防止のため皆様にはご不自由をおかけしますが、なにとぞご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、慢性疾患等で当院を定期受診し体調も安定されている方につきましては電話再診(電話による診療)も行っておりますのでご相談下さい。

経済的な理由で受診ができずにお困りの方には、各種制度の紹介や申請手続きの支援、当院で実施している無料低額診療事業の活用などをご案内しております。詳しくは、ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

お困りごとがございましたら、なんでもご相談ください。

私たちは、鹿児島市南部地域の救急医療を守る医療機関の一つとして引き続き役割を果たし、地域の患者・組合員のみなさまのお気持ちに寄り添いながら、健康づくり・まちづくりに取り組んで参ります。

2021年12月15日

総合病院鹿児島生協病院 院長 樋之口 洋一